

令和2年度 都農町立都農中学校 第(1)回学校運営協議会報告書

日時	令和2年6月25日(木) 18時30分～20時00分	
場所	都農町立都農中学校 3年生教室	
参加者	委員	・黒木 倫徳 ・外山 保宏 ・伊東 英司 ・中西 浩美 ・黒木 宏 ・猪狩 勝英 ・税田 和久 ・黒木 至美 ・脇田 大誠
	その他	・都農町教育委員会教育長 江谷 信一 対策監 湯地 健一郎 指導主事 山之口 忍 ・地域学校協働活動推進員 吉留 雅輝 ・都農中 教頭 海野 育志朗
会次第	1 開会行事 ○ あいさつ、委嘱状交付(町教委) ○ 自己紹介 2 説明 ○ 都農町のコミュニティ・スクールについて ○ 学校経営方針及び学校の様子	3 意見交換会 ○ 2の説明に対する意見交換(質疑・応答を含む) ○ これからのコミュニティ・スクールの在り方について 4 まとめ 5 お礼
協議内容	<p>1 2の説明に対する意見交換</p> <p>Q1 キャリア教育の視点等について教えてください。</p> <p>A1 生徒達が都農町を活性化させる人材になるような視点でキャリア教育を進めています。そのためにも、総合的な学習の時間等において、外部からの刺激がほしいと考えます。</p> <p>A1-2 小学校でキャリア教育の基盤を身に付けさせたいと考えています。しかし、自分の言いたいことが言えない、自分の思いをうまく伝えられない児童の状況もあり、家庭教育の大切さを感じます。</p> <p>Q2 不登校生徒の不登校の理由を教えてください。</p> <p>A2 生活のリズムの乱れ等が考えられる。また、メディアの利用時間にも課題が見られる。</p> <p>※ その他、「不登校生徒の人数について」「キャリア教育での地域人材活用について」質疑・応答がなされた。</p> <p>2 これからのコミュニティ・スクールの在り方について</p> <p>○ 生徒にとって、魅力ある都農中にするために、中学校への進学を促進させる方法や都農中自体を魅力的にするための方策について様々な意見が出された。</p> <p>【町外の中学校への進学について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 町外の中学校へ進学してしまう状況がある。 ・ 町外の中学校へ進学した子どもとは子ども同士の交流も無くなり、地元に戻らなくなる傾向がある。 ・ 中学校の生徒にPRをしてほしい。ポスターやパンフレットを作成し、掲示・配付してはどうか。 <p>【キャリア教育のさらなる充実に向けて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ キャリア教育において小・中学校9年間での見直しが必要である。 ・ 働くこと、働いている人の人間性について学ばせることも大切である。 ・ 身近な大人の夢を聞く体験も必要である。 ・ 若者連絡協議会の方で、中学校の活動について協力できそうなことはないだろうか。 	
その他	<p>【感想等】</p> <p>○ 都農中は、町内に一つの学校であり、好きである。学力も伸びてきているのではないかと思っている。</p> <p>○ キャリア教育については、目的を明確にさせておくことが大切である。</p> <p>○ 不登校生徒等の課題はあるが、そういった子どもを救うことが必要である。</p>	